



RemoteLOCK 500i(KLシリーズ) RemoteLOCK 500iボックス 導入ガイド+クラウド管理操作説明

株式会社構造計画研究所
RemoteLOCKチーム

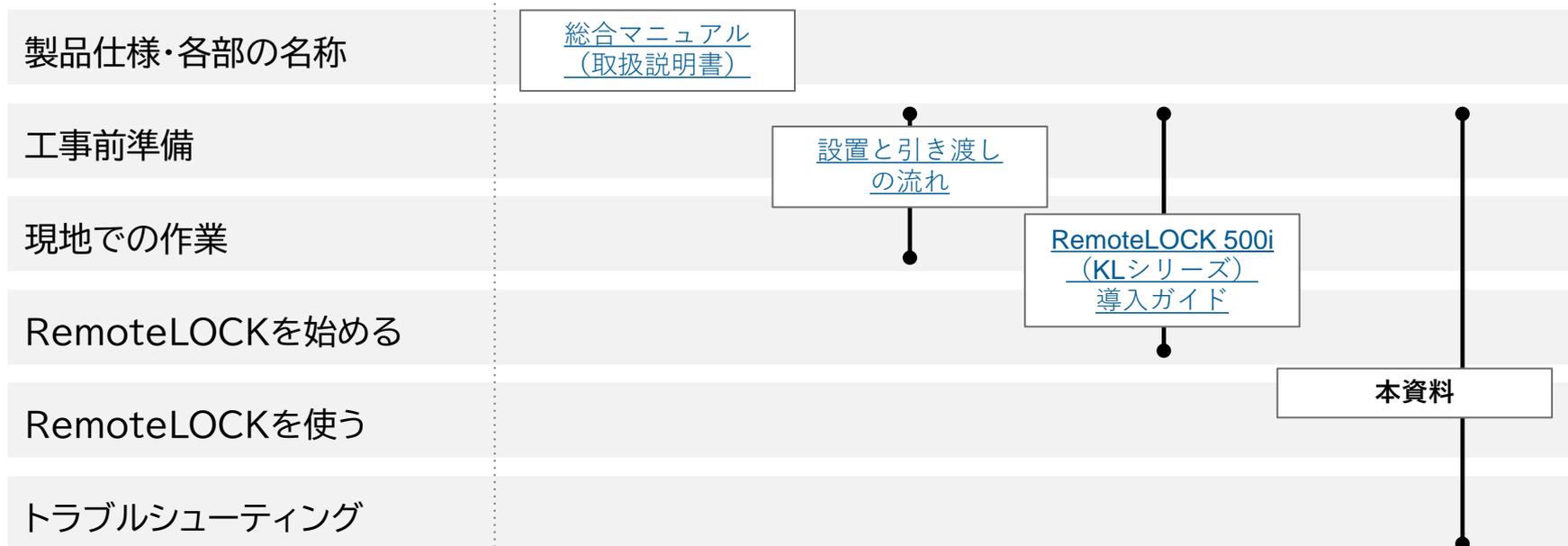
最終更新：2024.11.13

はじめに	・ 本資料の位置づけ	p. 3
導入ガイド	・ 工事前準備	p. 5
	・ 現地での作業	p. 8
クラウド管理操作説明	・ RemoteLOCKをはじめる(初期設定)	p. 22
	・ RemoteLOCKをつかう	p. 25
トラブルシューティング	・ よくあるご質問	p. 35
	・ ヘルプセンターとサポート窓口	p. 36
	・ お問い合わせ先	p. 37

RemoteLOCK 500i,500iボックスのご導入が決まった後から、日々の運用までのステップを、1つの資料に集約しています。

※RemoteLOCK 7i, 9jシリーズ,TOBIRAは別資料がございます

弊社HPで公開されている他の資料・製品に同梱されている資料では、以下の内容を記載しています。



導入ガイド

- ・ [工事前準備](#)

- ・ [現地での作業](#)

1. 同梱物を確認する
2. シリアルナンバーを控える
3. 設置工事を行う
4. マニュアルに従って施錠解錠を確認する
5. 物品の引き渡しを確認する
6. デバイスをシステムに登録する
7. Wi-Fi接続設定を行う
8. 運用に向けた設定変更

ヘルプセンター該当ページ：[初期設定>0.取付前の確認](#) / [初めての使い方ガイド>カンタン！はじめての5ステップ](#)
その他の該当資料：[RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#)

- 工事当日までに、お客様ご自身で以下をご用意ください

1. 現地のWi-Fi環境

- RemoteLOCKが接続できるのは、**2.4GHz帯**の周波数Wi-Fiです
- 詳しいネットワーク要件は下記のヘルプセンターから参照ください
- アクセスポイントのSSID、パスワードを手元に控えておいてください

2. 設定に使用するパソコン/スマートフォン

3. 単3アルカリ電池 または リチウム電池(1.5V) 4本

- 本体に電池は同梱されておられません。事前に部屋数分の電池をご準備ください
- 充電式電池、百円均一やディスカウントストア等の無メーカー電池は、安定した品質を保証できないので使用しないようにしてください

ヘルプセンター：[ヒントとトラブルシューティング](#)>[初期設定・Wi-Fi接続](#)>[無線LAN、Wi-Fi、設置場所、ネットワークの要件](#)
：[ヒントとトラブルシューティング](#)>[錠前本体\(ハードウェア\)](#)>[電池の指定はありますか](#)

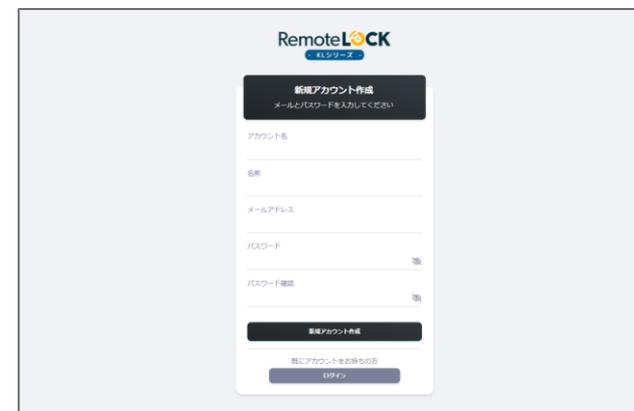
4. RemoteLOCKアカウント

- 以下のRemoteLOCKクラウド管理のURLにアクセスし、アカウントを作成してください
<https://connect.remotelock.jp/>
- アカウント作成時にクレジットカード情報が必要となります



5. KLアカウント

- RemoteLOCKクラウド管理画面上で [システム連携](#) > [デバイス](#) > [RemoteLOCK KLシリーズに接続する](#) > **新規アカウントを作成** を選択してください
- RemoteLOCKアカウントの「名前」と、KLアカウントの「アカウント名」は、同じにしてください



ヘルプセンター：[RemoteLOCK](#) > [初めての使い方ガイド](#) > [カンタン！はじめての5ステップ](#) > 4. アカウントの発行
：[KLシリーズ](#) > [KLシリーズ製品紹介](#) > [RemoteLOCK KLアプリについて](#)

6. RemoteLOCK KLアプリ



iOS



Android



- 上記のQRコードからスマートフォン上にインストールしてください
 - 作成したKLアカウントでログインしてください
- ※Bluetoothの使用は「許可」をタップ
※アプリとWebサイトに情報を共有することを許可します では「続ける」をタップ



ヘルプセンター：[KLシリーズ](#)>[KLシリーズ製品紹介](#)>[RemoteLOCK KLアプリについて](#)

1. 同梱物を確認する（お客様・施工店様）

- 製品本体
- 物理鍵 2本
- 保証書
- (使用上の注意)安全にお使いいただくために
- 防犯性能表示
- [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド](#)

2. シリアルナンバーを控える(お客様・施工店様)

- シリアルナンバー(K----)は外箱と保証書裏面右下のシールに記載があります
- 一度に複数ドアに設置する場合、ドアとシリアルナンバーの対応表を作ってください



その他の該当資料 : [RemoteLOCK 500i 総合マニュアル\(取扱説明書\)](#)

3. 設置工事を行う(施工店様)

- 物理鍵を室内に置かないでください

4. マニュアルに従って施錠解錠を確認する(施工店様)

単3電池4本を入れ、**ドアを開けた状態で**、以下の設定を実施します

- 「解錠」状態(ロック解錠状態)を認識させる
- キーパッド入力によるドアの施錠を確認する
- キーパッド入力によるドアの解錠を確認する

5. 物品が全て引き渡されていることを確認する(お客様・施工店様)

- 「1. 同梱物を確認する」に加えて、外箱もお客様にて保管ください
- 物理鍵は日常的に使わないものですので、部屋番号を書いたネームタグ等をつけて保管することをおすすめします

その他の該当資料

: [RemoteLOCK 500i 取扱チェック資料](#) / [RemoteLOCK 5i工事マニュアル](#)

: [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) >1. デバイス初期設定

6. デバイスをシステムに登録する(お客様)

1. RemoteLOCKクラウド管理画面上で、
設置場所 > **設置場所の追加** を選択して、
表示された画面で設置場所を追加してください

※タイムゾーンは「Japan」、もしくは「Asia/Tokyo」を選択してください

※2台目以降、既存の設置場所をご使用の場合は必要ありません

2. デバイス > デバイス追加 > [RemoteLOCK KLシリーズに接続する](#) >

既存アカウントに接続 を選択して、表示された画面でKLアカウント情報を入力してください



その他の該当資料 : [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 3. デバイス情報の登録
ヘルプセンター : [KLシリーズ > KLシリーズ初期設定 > クラウド登録](#)

3. アカウント情報入力後、お客様のアカウント画面が表示されたら、画面右上、または中央下にある **デバイス登録** を選択してください

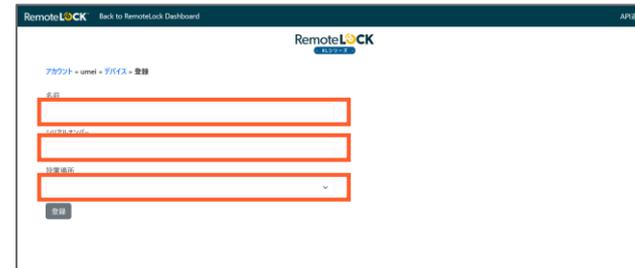
4. デバイス情報を入力し、**登録** を押下してください

名前 : 任意(例: ○○○号室、事務所ドア東)

シリアルナンバー: 保証書のシールに記載

設置場所 : リスト(プルダウン表示)から選択

5. 画面に登録したデバイスが表示されたら、システムへの登録が完了です



その他の該当資料 : [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 3. デバイス情報の登録
ヘルプセンター : [KLシリーズ](#)>[KLシリーズ初期設定](#)>[クラウド登録](#)

7. Wi-Fi接続設定を行う(お客様)

1. RemoteLOCKのWi-Fi設定をリセットします。本体キーパッドを以下の順番で操作してください

プログラミングコード → → 312 →

ピー

ピーピー

※初期プログラミングコードは「123456」です

※プログラミングコードが正しく入力されていれば、

押下時にボタンが **オレンジ色** に点灯し『ピー』と一回鳴ります

※間違ったプログラミングコードが入力されたり、ボタンの押し込みが不足して正しく入力できないと、 が **赤色** に点灯し『ピーピーピー』と鳴ります



2. RemoteLOCKをWi-Fi接続モードにします

プログラミングコード → → 320 →

ピー

ピーピー

その他の該当資料

: [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 4. Wi-Fi設定

ヘルプセンター

: [KLシリーズ>KLシリーズ初期設定>Wi-Fiの設定](#)

3. パソコン/スマートフォンのWi-Fi一覧から「KoreLock_Wifi」という表示を選択し、RemoteLOCKとパソコン/スマートフォンを接続します

※Wi-Fi一覧で見つけれない場合は、電池を一度取り外して入れ直すか、再度「Wi-Fi設定のリセット」「Wi-Fi接続モード」を実行してください

4. 接続したいWi-Fiを選択し、**Connect** を押下します

- iPhone/iPad の場合、「KoreLock_Wifi」を選択した時点で自動的に左記の画面が立ち上がります
- パソコン/Androidスマートフォンの場合、ブラウザから「192.168.4.1」とアドレスバーに入力すると、左記の画面が立ち上がります



その他の該当資料 : [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 4. Wi-Fi設定
ヘルプセンター : [KLシリーズ>KLシリーズ初期設定>Wi-Fiの設定](#)

5. パスワード入力画面が表示されますので、Wi-Fiアクセスポイントのパスワードを入力し Connect ボタンを押下します



6. 画面上に **Connection complete.** と表示されれば完了です。「キャンセル」、またはブラウザを「×」ボタンで閉じて下さい
※「Dismiss」ボタンを押下すると接続が解除されますのでご注意ください



その他の該当資料
ヘルプセンター

: [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 4. Wi-Fi設定
: [KLシリーズ>KLシリーズ初期設定>Wi-Fiの設定](#)

8. 運用に向けた設定変更(お客様)

1. プログラミングコードの変更

セキュリティの観点から、プログラミングコードを初期値(123456)から管理者様にて任意の番号に変更してください

※設定変更はRemoteLOCK KLアプリからのみ可能です

※変更していない場合、一定期間経過後にランダムな値に変更されます



その他の該当資料
ヘルプセンター

: [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 5. 運用に向けた設定
: [KLシリーズ](#)>[KLシリーズ製品紹介](#)>[RemoteLOCK KLアプリについて](#)

2. ハートビート間隔の変更

- 工場出荷時のハートビート間隔は1時間、Wi-Fi接続設定後は4時間の設定となりますが、運用に合わせてハートビート間隔を設定してください
- 推奨は「12時間」です

※設定変更はRemoteLOCK KLアプリからのみ可能です

※「詳細設定」>Wi-Fiに接続するタイミング も併せてご確認ください



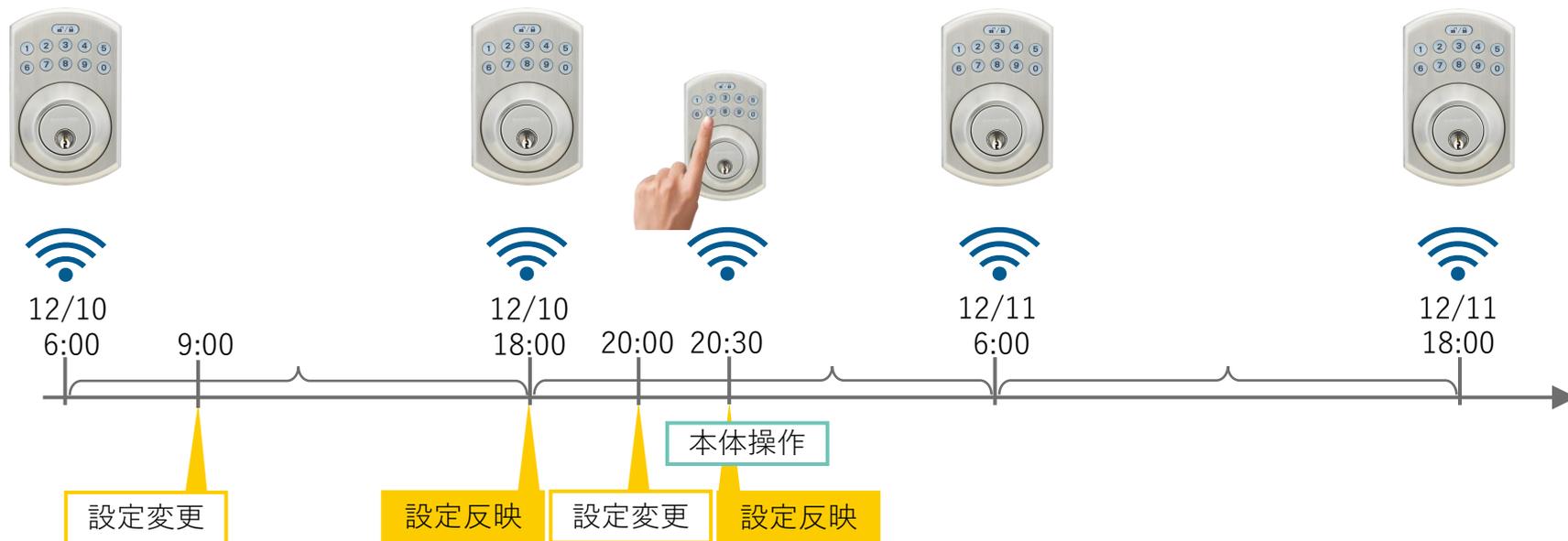
その他の該当資料
ヘルプセンター

: [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 5. 運用に向けた設定

: [KLシリーズ](#)>[KLシリーズ製品紹介](#)>[RemoteLOCK KLアプリについて](#)

※RemoteLOCKはWi-Fiで常にインターネットに接続されているわけではありません

- ハートビート間隔とは、RemoteLOCK本体からのWi-Fi接続通信の間隔のことを指します
- ハートビートに加えて、本体操作(キーパッド、サムターン)でもWi-Fiと通信させることができます



その他の該当資料
ヘルプセンター

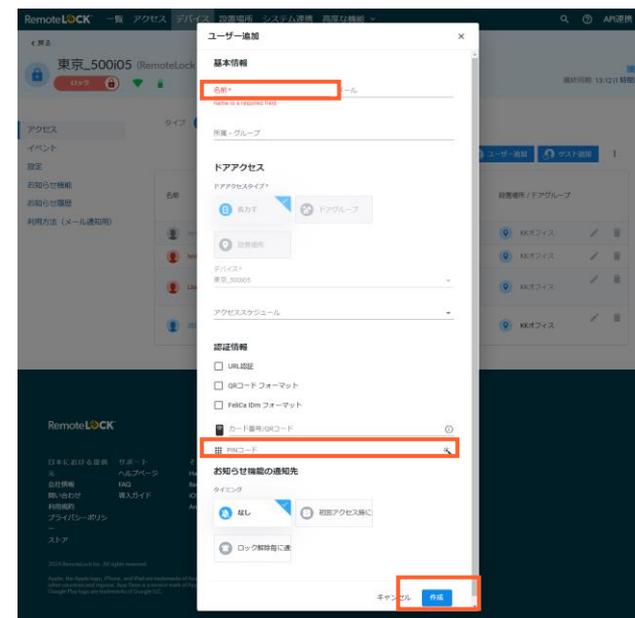
: [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 5. 運用に向けた設定

: [RemoteLOCK>ヒントとトラブルシューティング>ハートビート間隔とは何ですか？](#)

3. 初期PINコードの変更

- セキュリティの観点から、初期アクセスユーザーの暗証番号(4321)をそのまま使用せず、**必ず新規にアクセスユーザーを作成してください**
- アクセスユーザーは使用終了期限のない権限ですので、緊急用のマスターキーとしてもご利用いただけます

1. RemoteLOCKクラウド管理画面(ブラウザ)から、デバイス>設定変更したいRemoteLOCKを選択する
2. **アクセス** メニュー右上、**ユーザー追加** をクリック
3. 必要事項(名前、PINコード)、任意事項(メールアドレスなど)を入力する
4. 右下の **作成** をクリックして終了



その他の該当資料
ヘルプセンター

- ： [RemoteLOCK 500i\(KLシリーズ\) 導入ガイド.pdf](#) > 5. 運用に向けた設定
- ： [KLシリーズ>KLシリーズ初期設定>デバイスの出荷時設定と変更について](#)

6. キーパッドの無効化(ロックアウト) 失敗回数・期間秒の設定

- キーパッドの無効化とは、いたずら防止のため、間違っただ暗証番号が複数回入力された場合に、一定時間ボタン操作を受け付けない機能です
- 初期設定では、「5回」間違ると「60秒間」操作を受け付けません
- 設定を変更は、RemoteLOCK KLアプリからのみ可能です

※機能を無効にすることはできません

※機能を使わない場合は、失敗回数を最大の「100回」、期間を最短の「1秒」にしてください



ヘルプセンター

: [KLシリーズ](#) > [KLシリーズ初期設定](#) > [デバイスの出荷時設定と変更について](#)

クラウド登録操作説明

- [RemoteLOCKを始める\(初期設定\)](#)

1. 管理者への通知設定
2. ゲストへの通知設定
3. 連携サービスと繋げる(任意)

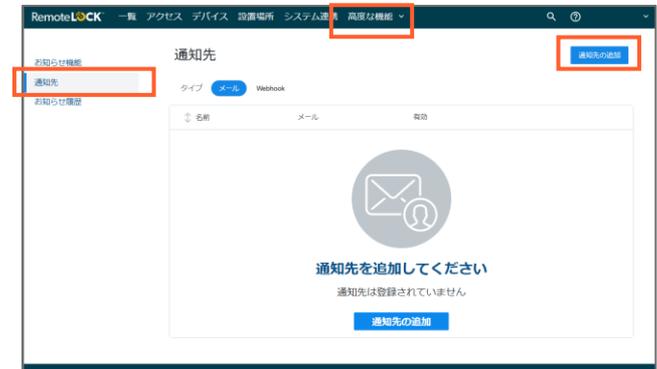
- RemoteLOCKを使う

1. 入室権限を与える
2. 入室権限を確認・編集する
3. デバイスの状態を把握する
4. 履歴を確認する
5. スケジュールを設定する

ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>初めての使い方ガイド>これだけは使いたい！おススメ便利機能](#)
[RemoteLOCK>初めての使い方ガイド>運用を始める](#)

1. 管理者への通知設定

- 施設の管理事業者様にデバイスの状況などを自動でメールする機能です
- RemoteLOCKクラウド管理画面(ブラウザ)から、高度な機能>お知らせ機能>通知先>**通知先の追加** をクリック
- 名前、メールアドレスを入力し、**作成** をクリック
- お知らせ機能> **お知らせ機能の追加** をクリック
- メールの通知先から先に入力したアドレスを選択し、受け取りたい情報元、イベントを選択し、右下の **作成** をクリック
- デバイスのイベントの **電池残量の低下** と **アクセスユーザー/ゲストの同期失敗** は通知設定を強く推奨します



2. ゲストへの通知設定

- アクセスユーザー/ゲストの作成をすると、入室方法を含む入室者向けのメール送信が自動で行えます
- メール内容は、アカウントに対してデフォルトで設定されています
- 高度な機能 > 自動送信メール > ゲストテンプレート から、文章を編集してください
- 同じく、自動送信メール > 送信スケジュール > **送信スケジュールの追加** から、ゲストに通知メールを送信するタイミングを選択し、右下の**作成** をクリック



ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK > 初めての使い方ガイド > これだけは使いたい！おすすめ便利機能](#)

3. 連携サービスと繋げる(任意)

- 2024年11月現在、RemoteLOCK 500i(KLシリーズ)と連携可能なサービスは以下の通りです
- システム連携のための設定方法は各種サービスにより異なりますので、詳細は各サービスからのご案内を確認ください

宿泊施設向け				時間貸し・会員制の施設向け			
予約サイト		サイトコントローラー		予約システム / 予約プラットフォーム			
PMS							
チェックインシステム				その他			

ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>APIご利用のお客様>API予約エンドポイントに対応した連携サービス一覧](#)
 RemoteLOCK公式HP：[製品情報>RemoteLOCK 500i>対応した連携サービスについて](#)

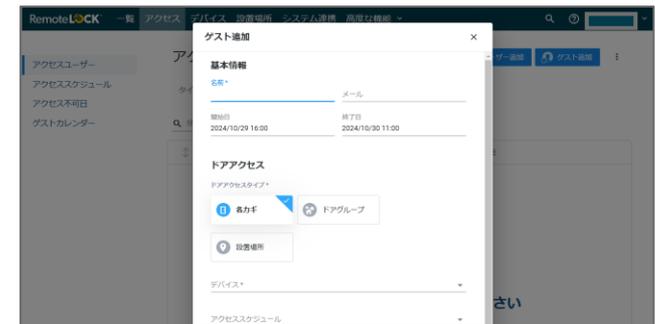
1. 入室権限をを与える（クラウド管理画面）

アクセスユーザー：スタッフなど定期的・定常的な利用者向け

アクセスゲスト：施設予約者など一時的な利用者向け

-暗証番号の有効期間を日時で指定でき、期間終了後は自動で無効化

- アクセスから、**ユーザー追加** **ゲスト追加** をクリック
- ゲストの場合、
 - 名前
 - メール
 - 開始日、終了日
 - ドアアクセス(デバイス)
 - 認証情報(PINコード)
 - お知らせ機能の通知先(管理者向け)を入力し、右下の **作成** をクリック



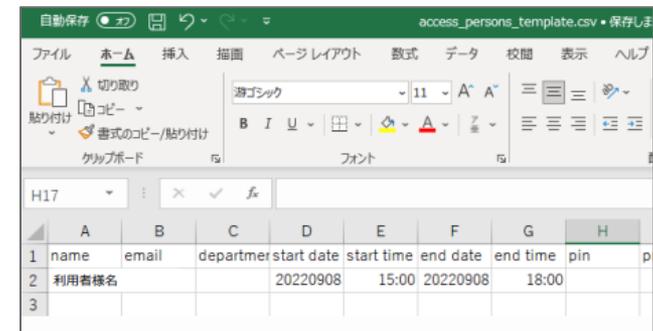
ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>クラウド管理機能の詳細>アクセス](#)

[RemoteLOCK>初めての使い方ガイド>運用を始める>入室権限を与える](#)

※CSVファイルの読み込みで、暗証番号を一括登録もできます

(例) お手元のご利用者名簿に沿って、全員に暗証番号を付与したい
毎日変わる番号を1年分まとめて登録したい

- アクセスから、「:」> CSV一括読み込み をクリック
- リンクからCSVテンプレートをダウンロードし
 - name:名前
 - start date:開始日(「YYYYMMDD」形式)
 - start time:開始時間(「HH:MM」形式)
 - ...
 - pin:暗証番号(空欄時はランダム生成)を入力する
- CSV一括読み込み から、書き込んだファイルを選択し、さらに暗証番号を反映させたいデバイスを選択して、クラウドに読み込ませる



ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>クラウド管理機能の詳細>アクセス>CSV一括読み込み](#)

2. 入室権限を確認・編集する（クラウド管理画面）



入室権限を削除：利用者自体の情報を無効化
：特定ドアに入室できる権限を削除



入室権限を変更：アクセスゲストが入室できる期間を編集
入室権限を追加：入室できるドアを追加
：アクセススケジュールを変更

名前	認証情報	開始日	終了日
池田	773・686	2024年10月29日 5:00	2024年10月30日 20:00
		2024年10月30日	2024年10月30日

ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>クラウド管理機能の詳細>アクセス](#)

[RemoteLOCK>初めての使い方ガイド>運用を始める>入室権限の確認・編集をする](#)

2. 入室権限を確認する (RemoteLOCK KLアプリ)

※現在、アプリからは閲覧のみ可能で、編集はできません



3. デバイスの状態を確認する（クラウド管理画面）

施錠/解錠状態(リアルタイム表示ではない)

電波強度(最高・強・普通・弱・切断)

電池残量(カーソルを合わせると%表示)

 : 暗証番号が本体にダウンロードされ認証済み
 : 暗証番号が未認証(使用できない)

※これらの情報は直近のWi-Fi接続で取得したもので、即時反映ではない



RemoteLOCK 一覧 アクセス デバイス 設置場所 システム連携 高度な機能

東京_500i04 (RemoteLock KL Series 500i)

ロック

接続
最終同期 15:01 (2時間前)

タイプ 全て ユーザー ゲスト

ユーザー追加 ゲスト追加

名前	認証情報	開始日	終了日	アクセススケジュール	設置場所 / ドアグループ
増田	8075				

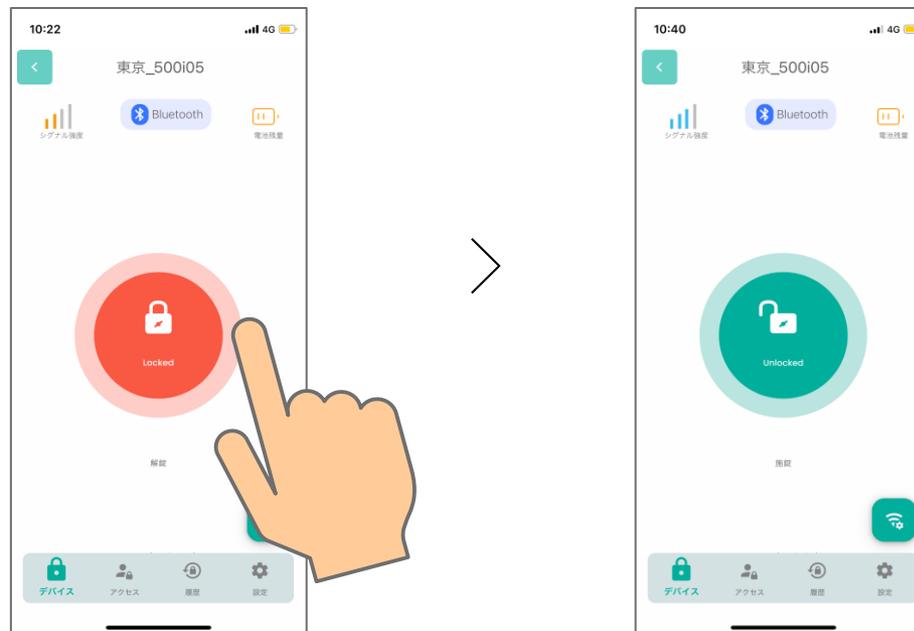
ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>クラウド管理機能の詳細>デバイス詳細](#)

3. デバイスの状態を確認する（RemoteLOCK KLアプリ）

- 管理画面と同様に、電波強度、電池残量、施錠/解錠状態が確認できます

※RemoteLOCKとスマートフォンがBluetooth通信の接続範囲内であれば、アプリからリアルタイムでの施錠/解錠が可能です

※スマートフォン側でBluetooth通信を許可していない場合、あるいはBluetooth信号がRemoteLOCKに到達しない場所(遠隔地)にいる場合、従来通りWi-Fi通信を用いることとなりますので、制御・表示までにタイムラグが発生いたします

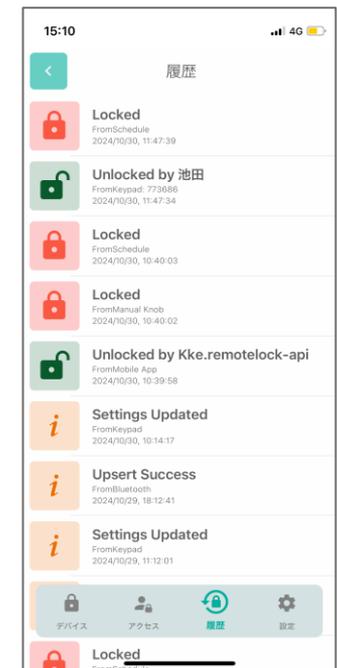


4. 履歴を確認する（管理画面・RemoteLOCK KLアプリ）

- ドアごとに、「いつ」「誰が」入室したか、Wi-Fiの接続状態、入室権限の認証状況を一覧で把握できます
- ユーザーごとに、「どのドアに」「いつ」入室したかという表示も可能です



イベント日時	情報元	イベントタイプ	操作方法	情報
2024年10月30日 11:47 JST	デバイス	ロック	オートロック	
2024年10月30日 11:47 JST	池田	ロック解除	PINコード (773・686)	773・686
2024年10月30日 10:40 JST	デバイス	ロック	オートロック	
2024年10月30日 10:40 JST	ユーザー	ロック	ノブ	
2024年10月30日 10:39 JST	ネットワーク	ロック解除		
2024年10月29日 18:12 JST	池田	アクセスユーザー/ ゲストの同期成功		



ヘルプセンター該当ページ：[RemoteLOCK>クラウド管理機能の詳細>デバイス詳細-イベント](#)

5. スケジュールを設定する (RemoteLOCK KLアプリ)

設定できる内容は以下の通りです

種別		内容
アクセススケジュール		アクセスユーザー/ゲストに対して、暗証番号が可能な曜日・時間(1分単位)を設定する (例) 施設清掃業者: 平日6:00-9:00のみ解錠可能
アクセス不可日スケジュール		アクセスユーザー/ゲストに対して、祝日など曜日によらない特定日(24時間単位)のアクセスを制限する
デバイススケジュール	オートロックスケジュール (Auto-Lock)	デバイスごとに、オートロック機能のON/OFF切り替えのタイミングを、曜日・時間(1分単位)で設定する
	カギの開閉スケジュール (Lock Action)	デバイスごとに、自動でカギを施錠/解錠するタイミングを、曜日・時間(1分単位)で設定する

ヘルプセンター該当ページ：[KLシリーズ 運用に関する設定](#)>[RemoteLOCK KLアプリのスケジュール設定機能](#)

アクセススケジュールの設定方法は以下の通りです

1. アクセススケジュールの作成する(RemoteLOCK KLアプリ)
2. アクセスユーザー/ゲストに対してアクセススケジュールを適用する(クラウド管理画面)
p.24「入室権限を与える」を参照ください



ヘルプセンター該当ページ：[KLシリーズ 運用に関する設定](#)>RemoteLOCK KLアプリのスケジュール設定機能

トラブルシューティング

- ・ よくあるご質問

- Q. RemoteLOCKがWi-Fiに接続するタイミングはいつですか？
- Q. Wi-Fiが切れたらどうなりますか？
- Q. 電池が切れたらどうなりますか？

- ・ ヘルプセンターとサポート窓口

- ・ お問い合わせ先

Q. RemoteLOCKがWi-Fiに接続するタイミングはいつですか？

A. ボタンを操作したとき、もしくは「一定時間経過後」です

クラウド管理システムで設定するWi-Fi接続間隔(ハートビート間隔:5分~12時間)で接続します。このハートビート間隔は著しい電池消費を抑えるために12時間を推奨しています。その他にもキーパッドやサムターン操作のタイミングでも接続することができます。

Q. Wi-Fiが切れたらどうなりますか？

**A. これまでに記憶した暗証番号であれば使用できますが、
新しい暗証番号の設定や、古い暗証番号の削除ができません**

Wi-Fiの接続が切れてもすでに認証されている暗証番号、設定はそのまま利用可能です。ただし、Wi-Fi切断後に発行された暗証番号、設定は次にWi-Fi接続されるまでデバイスに反映されません。

Q. 電池が切れたらどうなりますか？

A. キーパッドでの操作ができなくなります

電池残量低下のお知らせをメールで受け取ったら、忘れず電池を交換してください。電池残量はクラウドから確認ができます。最終的に電池が切れてしまった場合、付属の物理鍵を使って解錠してください。

- オンラインのヘルプセンターにて、各種マニュアルを公開しています
<https://remotelocksupport.kke.co.jp/hc/ja>
- ご利用中の製品に関するサポートは、お問い合わせフォームから
<https://remotelocksupport.kke.co.jp/hc/ja/requests/new>
下記内容を記載いただくとお時間が短縮されます。
(シリアルナンバー/発生時刻/事象(アクセスゲスト名など))





すまいIoT部（RemoteLOCK担当部署）

〒164-0012 東京都中野区本町6-16-11 A.Sビル新中野

☎:050-1807-1888(平日9時~17時)

✉:remotelock-lgsales@kke.co.jp

<https://remotelock.kke.co.jp/>